

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】令和 5 年 6 月 9 日(2023.6.9)

【公開番号】特開 2022-149931(P2022-149931A)
【公開日】令和 4 年 10 月 7 日(2022.10.7)
【年通号数】公開公報(特許)2022-185
【出願番号】特願 2021-52285(P2021-52285)
【国際特許分類】
 B 6 0 N 2/427(2006.01)
【F I】
 B 6 0 N 2/427

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 6 月 1 日(2023.6.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

シートクッションの左右に配置されるクッションサイドフレームと、
シートバックの左右に配置されるバックサイドフレームと、
前記クッションサイドフレームの後端部に固定された、前記バックサイドフレームを支持するための板状のブラケットと、を備え、
前記ブラケットは、
前記バックサイドフレームに固定される第 1 板状部と、
前記クッションサイドフレームに固定される第 2 板状部と、
前記第 1 板状部と前記第 2 板状部とに接続される段状の脆弱部と、を備え、
前記第 1 板状部は、前記第 2 板状部よりも左右方向外側に配置されて前記バックサイドフレームの左右方向外側に配置され、
前記第 2 板状部は、前記クッションサイドフレームの左右方向内側に配置され、
前記脆弱部が、前記クッションサイドフレームの後端と、左右方向に直交する方向で向き合うように配置されていることを特徴とする乗物用シート。

30

【請求項 2】

前記第 1 板状部は、左右方向から見て、前記クッションサイドフレームと重ならないことを特徴とする請求項 1 に記載の乗物用シート。

【請求項 3】

前記脆弱部は、前記クッションサイドフレームの後端に沿って延びることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の乗物用シート。

40

【請求項 4】

前記クッションサイドフレームに対して前記バックサイドフレームを傾動させるリクライニング機構を備え、

前記第 1 板状部は、前記リクライニング機構を介して前記バックサイドフレームに固定されることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【請求項 5】

前記脆弱部は、前記第 1 板状部の左右方向外側の外面から左右方向外側に突出しないことを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【請求項 6】

50

前記脆弱部は、前記ブラケットの前端から後端まで延びることを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【請求項 7】

前記第 2 板状部は、前記クッションサイドフレームに固定される第 1 固定部および第 2 固定部を有し、

前記脆弱部は、前記第 1 固定部から前記第 2 固定部まで延びることを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【請求項 8】

前記脆弱部は、前記クッションサイドフレームの上端から後端まで延びることを特徴とする請求項 1 から請求項 7 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

10

20

30

40

50